

東近江圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 検討項目整理経過表

	市町の抱える問題 (第1回担当者会議)	課題
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の意識を高めることが難しい。(近江八幡市) ・最近ないので、若い世代の水害についての意識が薄い。(近江八幡市) ・地域の過去の水害を知らない。(共通) ・洪水HMの配付から2年がたち再度活用を呼びかけたい。(竜王町) ・毎年実施される防災訓練は水害を想定した訓練になっていない。(日野町) ・普通河川を含めた内水氾濫が課題(東近江市) ・洪水HMの自治会への配付するが、出前講座を活用し避難場所への経路を確認するなど意識啓発を進めたい。(東近江市) ・洪水HMの配付にあわせ対象範囲外の対応必要 	水害経験者の減少で地域の水害リスクが伝わらず水害に備える意識が低下している
	<ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖の避難判断水位は+80cmで設定されている。市域では幸いこの水位で床下浸水になる地域はない、協議会として細分化は出来ないか。(東近江市) ・平成8年に+80cmとなり自主避難が行われた。(安土町) 	避難判断水位が地域の実状にあっていない
湖辺地域	<ul style="list-style-type: none"> ・琵琶湖浸水は急激な氾濫ではないこともあり、地域の水害に対する理解が少ないことが問題。(安土町) 	水害リスクを知らずに土地利用が行われる
	<ul style="list-style-type: none"> ・大中地区は多くの牛がおりどう避難させるかが問題(安土町) ・大中地区の家畜(牛)の対処について市水防協議会で課題となっている(近江八幡市) 	牛をどう避難させるか

東近江圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 検討項目整理表、進め方（案）

	課題	対応方針 (検討項目)	解決方策	実施手法	進め方		
					20年度	21年度	22以降
共通	水害経験者の減少で地域の水害リスクが伝わらず水害に備える意識が低下している	水害に備える意識の高揚	地域の経験情報を普及するための取り組み(地域)	・知恵・水害文化の発信	発信方法検討		資料とりまとめ
			科学的情報による意識の高揚のための取り組み(行政)	・体験型講座(R-DIG)の検討・実施	上流部、中流部、湖岸部の3集落を対象に出前講座を試行		試行結果を踏まえ、資料内容や進め方等を向上させ出前講座を拡大 各市町での積極的な展開
			・はん濫シミュレーション結果の公表・普及				
	避難判断水位が地域の実状にあっていない	地域の危険状況に合わせた避難判断水位の設定	地域別避難判断水位の設定	・地域別避難判断資料の作成		避難判断資料の作成	
湖辺地域	水害リスクを知らずに土地利用が行われる	長期浸水への対応	水害リスクを日頃から意識できるための取り組み(住まい方)	・まるごとまちごとハザードマップの実施		設置場所や内容等の検討	住民と協働して現地に設置
	牛をどう避難させるか		家畜を長期避難させるための取り組み	・家畜の避難に関する現状・課題・対策案検討	現状や課題の洗い出し 2	対策案検討	(可能なら)避難訓練
			家畜の避難に関する協定の検討		避難協定の検討	(必要なら)協定締結	

- 1: 知恵・文化の収集方法について 平成20年度は流域治水政策室で実施したアンケート結果を基に対象集落を選定、各市町3～5集落を対象に聞き取り調査等を実施する。平成21年度は、小学生も参加した聞き取り調査が実施できるよう学校との連携を検討していく。
- 2: 現状や課題の洗い出しについて 家畜保健衛生所や畜産技術振興センターの担当者にも参加願った行政間での検討をまず進め、その後に飼育農家の参加をお願いする。